

## 第41期第15回理事会議事録

**日 時**：2022年 3月24日（木）13時00分～16時10分

**会 場**：日本気象学会事務局（Web 会議）

**出席理事**：佐藤 薫，橋田俊彦，青柳曉典，池上雅明，

植田宏昭，榎本 剛，小池 真，齋藤篤思，

佐藤正樹，竹見哲也，坪木和久，中村 尚，

橋本明弘，早坂忠裕，平松信昭，廣岡俊彦，

堀之内 武，三好建正，渡部雅浩，

以上19名

（理事数現在19名）

**出席監事**：鈴木 靖，吉田 聡，以上 2名

**その他の出席者**：勝山 税，齋藤誠一郎，山田眞吾（事務局）

### 議 題

#### 1. 協議事項

##### 1) 会員の新規加入等について

新入会28，退会14を全会一致で承認した。2022年3月17日現在，会員数3,258名で個人会員は3,066名。

##### 2) 第41期第14回理事会議事録の確認。

全会一致で承認した。あわせて，第41期第2回支部長会議議事概要の確認を行った。

##### 3) 役員候補者選挙における電磁的方法の導入について（細則改正，社員総会提案）

次回第43期役員候補者選挙においては電磁的方法を導入するべく，日本気象学会細則改正を総会に諮ることについて，全会一致で承認した。電磁的投票では，現在の学会独自のアカウントと google アカウントの2種類を，google アカウントに統一して利用する。電磁的方法における無記名投票の担保として，選挙管理にかかわる者が秘密厳守することを，役員選挙実施要領に記載する方向が確認された。

##### 4) 第42期理事選任候補者について（第42期役員候補選挙結果報告を含む）

第42期役員候補者選挙管理委員長から理事候補者選挙の結果が報告された。理事会は当該選挙の当選者17名を理事選任候補者とするを全会一致で承認した。あわせて，庶務，会計，企画の業

務執行を担う予定の3名を理事選任候補者として追加して推薦する理事長提案があり，全会一致で承認した。

- 5) 日本気象学会の各賞のあり方検討を踏まえた日本気象学会細則等の一部改正について（協議）  
 前回の理事会で了解された賞の変更内容（学会賞と正野賞の違いの明確化，正野賞と藤原賞の表彰時期の変更，山本賞の受賞対象者の変更など）とともに，2022年度に募集する賞から適用する案が示された。変更の効果を速やかに出していくべきとの意見も踏まえて，細則と，藤原賞，正野賞及び山本賞の各受賞選定規程の改正とその即日実施が全会一致で承認された。

#### 2. 報告事項

##### 1) 第42期への移行準備関係

①第42期に向けた引継ぎ資料の作成，第42期第1回理事会の開催について報告された。

##### ②広報委員会の設立に向けた検討について

財政改善検討 WG の検討により，広く市民や企業から寄付をいただく前提として，社会からの気象学会の活動への理解と応援をいただくことが必要であるため，ウェブサイトの改修やメールマガジン等の発行を通じて，学会の活動を伝えることの必要性が明らかになった。このため，電子情報委員会の役割や業務を見直した上で，第42期の早期に広報委員会を設立するべく担当理事を立てることが提案され，全会一致で承認された。

##### 2) 各 WG からの報告

###### ①財政改善検討 WG

3月7日第7回会合を行い，収支状況を踏まえて各委員会活動の収支を確認した。4月の初めに正確な収支がでるが，大半の事業で改善がみられている。これらをまとめて改善報告を作成し，42期に向けて検討課題を引き継ぐ。複数の理事から，財務改善に向けた課題である寄付，天気，大会の3つについて，次期において関係委員会で議論・検討して WG や理事会の合意の下，実行に移していくべきとの意見があった。

## 3) 業務執行理事の報告

庶務担当執行理事…以下の内容が報告された。

・転載許可

なし

・後援名義等使用依頼受付

## ①名称：日本流体力学会年会2022

主催：一般社団法人 日本流体力学会

期日：2022年9月27日（火）～29日（木）

場所：京都大学吉田キャンパス本部構内

名義：協賛

## ②名称：防犯防災総合展2022

主催：防犯防災総合展実行委員会・一般社団法人

大阪国際経済振興センター・テレビ大阪株式会社

期日：2022年6月9～10日

場所：インテックス大阪

名義：後援

## ③名称：第10回中部ライフガード TEC2022～防災・減災・危機管理展～

主催：名古屋国際見本市委員会、(公財)名古屋産業振興公社

共催：南海トラフ地震対策中部圏戦略会議

期日：2022年10月4～5日

場所：ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）

名義：協賛

## ④名称：第39回エアロゾル科学・技術研究討論会

主催：日本エアロゾル学会

期日：2022年8月3～5日

場所：慶応義塾大学（日吉キャンパス）

名義：共催

・寄付者リスト（2022.2.15～2022.3.23）

故大滝俊夫（会員番号：610, 2021年1月24日死亡、退会）1,000,000円

会計担当執行理事（現金検査（2月分））…以下の内容が報告された。

・2022年2月分の収支及び現預金検査報告。

・流動資金（運転資金）の月別推移。2016年程度まで回復した。事務室の借料以外の委託関係諸費は約42万円で、大手町の頃から若干増えた。

日本気象学会賞、藤原賞、岸保・立平賞の投票結果について報告された。

## 4) 委員会報告

講演企画…以下の内容の報告などがされた。

・2022年度春季大会の準備状況。講演申込が例年の2/3と、かなり減っている。考えられる理由として、専門分科会がない、クレジットカード決済が使えない、オンライン疲れ等が挙げられた。参加申込受付システムのクレジットカード決済再開は5月下旬～6月の予定。春季大会参加受付には間に合わない。真鍋先生特別シンポジウムは真鍋先生のビデオに字幕が載ることを確認し、改善を提案している。

・2022年度秋季大会の準備状況。専門分科会が8件と多めとなっている。専門分科会の申し込み締め切りをもっと遅くできないかとの意見があり、委員会で確認して検討することとした。2022年度秋季大会ではシンポジウムは開催されない。

天気編集…以下の内容が報告された。

・Vol. 69 No. 3, 4（2022年3, 4月）の掲載記事と、Vol. 69 No. 5, 6（2022年5, 6月）の予定記事。

気象集誌…以下の内容の報告などがされた。

・記念すべき100号 秋の学会で科研費の5年目スペシャルセッションを計画中

・Vol. 100 No. 2, 3（2022年4, 6月）の掲載予定論文。

・審査中の論文リスト。

今年に入って投稿数が減っており、投稿を促進する企画が必要との補足説明があった。関連して「天気」の投稿数も減少しており、フィールド観測ができず報告物を作成できないことも一因と考えられるとの指摘があった。

SOLA…以下の内容が報告された。

・2022年の論文投稿・公開状況（3月22日時点）：投稿論文数22編、公開論文数10編、印刷中（早期公開済）5編。

・特別号企画、JMSJ 合同特別号「近年多発する極端気象に関する研究」（Vol. 18A）：論文投稿受付中。

・掲載論文一覧。特に投稿数に変化はない。

気象研究ノート…以下の内容の報告などがされた。

・来年度245号「2018年の異常気象」が出る予定

・「教育と普及」「再生可能エネルギーの気象学」を進めている。

表彰関連…以下の内容の報告などがされた。

・部外表彰

2022年度日本地球惑星科学連合フェロー候補者推薦実施済、2022年度日本地球惑星科学連合学術賞（三宅賞）候補者推薦実施済、日本学術振興会賞推薦実施中、日本学術振興会育志賞公募中、文部科学大臣表彰7月頃募集予定。

理事長から気象学会のビジビリティを高める活動に感謝が示された。

・名誉会員

推薦候補者の検討対象となりうるリストをアップデートして、選考基準の明確化もあわせて検討中。学会賞、藤原賞などの受賞経歴、年齢や、理事や委員を長く務める等学会への貢献等が考慮されるべきと考えている。名誉会員の推薦の検討を進めるとともに、作成した業績受賞や理事経験のリストを次の期に引継ぎたい、との報告があった。

総会で承認される名誉会員を推薦するにあたっては、その推薦基準を規定などで明らかにしておくことが大切、また、名誉会員は他学会のフェローにも相当する立場とすれば学会やその活動の普及の役割を担っていただく可能性も考慮して今後の計画的な名誉会員の推薦を考えていくべき等の議論があった。気象災害…以下の内容の報告などがされた。

- ・5月9日に日本学術公開シンポジウム/第13回防災学術連携シンポジウム「自然災害を取り巻く環境はどう変化したか」が開催される。「地球温暖化による極端気象と災害ハザードの変化」と題して竹見理事が講演予定。
- ・防災学術連携体「防災科学の基礎講座」の制作計画について、協力の検討にあたっては、正確な知識・知見が発信されるよう配慮していくことが大事との指摘があった。

教育と普及…以下の内容が報告された。

- ・2022年度春季大会ジュニアセッション(オンライン)の準備中。

電子情報委員会…以下の内容が報告された。

- ・Google Workspace のアカウント管理を事務局に移

管した。Google Workspace の管理や事務局の支援は引き続き電子情報委員会で行う。

- ・2021年末での退会者のアカウントを停止した。年度末に削除予定。
- ・会員サイトのアカウントを google アカウントに合流する。

人材育成・男女共同参画…以下の報告と検討などが行われた。

- ・男女共同参画学協会連絡会へのオブザーバ参加について、全会一致で承認した。
- ・委員会のウェブ改修作業のための人件費支出について、全会一致で承認した。
- ・気象学会の会員構成として女性の割合が10%の低比率であることを確認した。

5) 理事長報告

- ・JpGU 理事候補者選挙が行われた。気象学会に関係ある方が理事に4名、幹事に1名入っている。理事候補者選挙に投票権のある代議員に気象学会の会員から立候補していただき、気象学会の意見を反映させるように努めたい。

以上について、議事録を作成し、理事長および監事が記名押印する。

2022年4月15日

公益社団法人日本気象学会

理事長 佐藤 薫  
 監事 鈴木 靖  
 監事 吉田 聡